報道発表資料

令和6年1月5日

国立国会図書館

読書バリアフリーの推進に向けて、みなサーチ正式版を公開しました

国立国会図書館は、本日、国立国会図書館障害者用資料検索（愛称：みなサーチ）正式版（https://mina.ndl.go.jp/）を公開しました。

みなサーチは、目の見えない方・見えにくい方、活字の図書を読むのが難しい方など、様々な障害のある方が、利用しやすい形式の資料を探すことができるサービスです。愛称の「みなサーチ」には、全ての方＝皆（みな）にとって使いやすく検索しやすいシステムでありたい、という願いが込められています。

令和5年3月にβ版を試験公開し、障害当事者の方の声を受けて更に改善を図り、本日の正式版公開に至りました。

■公開の背景

障害の有無に関わらず、全ての国民が等しく読書を通じて文字や活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現を目指し、令和元年に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）が成立しました。

同法を受けて、令和2年に策定された読書バリアフリー基本計画において、国立国会図書館はその一翼を担うことになっていますが、全国にある利用しやすい形式の資料を簡単に探すことができるシステムの整備、そしてアクセシブルな書籍の数を増やすことが喫緊の課題となってきました。

みなサーチの開発に当たっては、障害当事者の方や障害者団体等からご意見を伺い、システムに反映してきました。視覚に障害がある方、ディスレクシアの方、上肢に障害がありページをめくることができない方など、視覚障害者等の方が検索から資料の利用までを簡単に行えるように、ページの構造をシンプルにするなどの工夫をしています。

更に、みなサーチを通じて、当館がデジタル化した資料の全文テキストデータ約247万点を、視覚障害者等の方がダウンロードして利用することが可能になっています。

■全文テキストデータの提供―247万点のアクセシブルな書籍が利用可能

国立国会図書館ではこれまで、資料の劣化を防ぐことなどを目的に、所蔵資料のデジタル化を進めてきました。このデジタル化した画像データに含まれる文字をコンピュータで文字認識させることにより、資料の全文テキストデータを作成しました。

この全文テキストデータを、画像データの形ではデジタル化資料を利用することができない視覚障害者等の方に提供することにより、音声読み上げソフトなどを使って資料の内容を読み上げて確認したり、本文を点字で表示したりすることが可能になりました。

全文テキストデータをダウンロードすることができる資料は、1960年代までに出版された図書、2000年までに出版された雑誌を中心に約247万点に上ります。今後は、1970年代以降の図書なども順次、テキスト化する予定です。なお、ダウンロードできるテキストデータは、コンピュータによる文字認識性能の向上に取り組んでいるものの、誤字やレイアウトの崩れているものがある場合があります。

■みなサーチでできる検索

みなサーチでは、全文テキストデータのほかにも、点字、DAISY、大活字本、LLブック、電子書籍、バリアフリー映像資料など、様々な資料を検索することができます。

検索の方法としては、簡易検索に加えて、細かく条件を指定して検索する「詳細検索」、資料の内容をキーワードで検索する「全文検索」、気になるジャンルから探す「ジャンル検索」という四つのメニューがあります。

「ジャンル検索」では、「ダウンロードの多い資料」や「児童書」、「今すぐ聞ける“歴史的音源”」などの切り口で簡単に検索することができ、視覚障害者等の方に気軽にご利用いただけるよう工夫しています。

また、正式版から新たに、当館の視覚障害者等用データ送信サービスの利用者登録手続がオンライン上で可能になり、より便利に登録しご利用いただけます。

読書バリアフリーの実現に向けて、みなサーチ正式版をぜひご利用ください。

■問合せ先：国立国会図書館 総務部総務課広報係 TEL：03-3506-5103（直通）